

教育学演習Ⅰ

科目ナンバリング SEM-301
必修 2単位

1. 授業の概要(ねらい)

歴史及び歴史教育にかんする諸テーマをとりあげる演習です。マックス・ヴェーバー『職業としての学問』を講読しながらモダンとは何かについて考え、討議する。

2. 授業の到達目標

- (1)近代の課題に現代ヨーロッパはどのように対処したかを理解する。
- (2)歴史的な時代感覚、今との時間的距離感をしっかり身につけ、自分なりに現代社会を歴史的に位置づけることができる。
- (3)ある程度まとまった英文テキストを読解することが出来る。

3. 成績評価の方法および基準

出席を前提として、ゼミのなかでの発言や発表を平常点とする。最後に、レポートを提出。平常点(40%)、レポート(60%)

4. 教科書・参考文献

教科書

マックス・ヴェーバー 『職業としての学問』 岩波文庫

5. 準備学修の内容

発表の担当が回ってきたときに、泥縄式にならないように。

6. その他履修上の注意事項

ヨーロッパと日本の近代史に関心をもってください。

7. 授業内容

- 【第1回】 演習へのオリエンテーション。自己紹介。
- 【第2回】 テキストの講読、発表、討論①
- 【第3回】 テキストの講読、発表、討論②
- 【第4回】 テキストの講読、発表、討論③
- 【第5回】 テキストの講読、発表、討論④
- 【第6回】 テキストの講読、発表、討論⑤
- 【第7回】 テキストの講読、発表、討論⑥
- 【第8回】 テキストの講読、発表、討論⑦
- 【第9回】 テキストの講読、発表、討論⑧
- 【第10回】 テキストの講読、発表、討論⑨
- 【第11回】 テキストの講読、発表、討論⑩
- 【第12回】 テキストの講読、発表、討論⑪
- 【第13回】 テキストの講読、発表、討論⑫
- 【第14回】 テキストの講読、発表、討論⑬
- 【第15回】 まとめと課題。